

★ まちづくり ★ ニュース



ホームページ

<https://tokiwadai.net/>

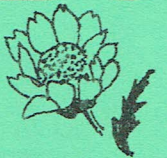
234号



2021年3月31日

常盤台の景観を守る会
常盤台まちづくり委員会

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869



— 都心低空飛行問題について —

○米軍ヘリの傍若無人な都心低空訓練

六本木やスカイツリーという都心のまっただ中で、米軍のヘリコプターがあろうことかタッチアンドゴーの訓練を繰り返しています。

毎日新聞が「特権を問う」という連載で都心低空飛行の問題も取りあげています。

羽田新ルートによって旅客機より低く飛ばざるをえなくなったため、と説明、航空法の適用除外をやめることや六本木のヘリポートを移転させることは日本政府のしかるべき立場の人間が交渉すれば不可能では無い、が、この国の政治家は誰もしようとしなのが問題の本質だと、小川和久氏の言で締めくくっています。

都心上空を平気で飛行機が飛ぶようになったことで、米軍にも東京都上空はなんでもありの状態だという認識ができてしまったのではないのでしょうか。常盤台の上空も以前より低く飛行機が飛んでいるように見えます。

○ 羽田問題の議員連盟動き始める

松原仁・海江田万里・長妻昭・小池晃・阿久津幸彦氏等で作る「羽田低空飛行見直しのための議員連盟」は、17日第2回会合、国交省の「羽田新ルート固定化回避に係わる技術的方策検討会」に対し、エンジン部品落下事故による要請等の活動を始めました。野党だけでなく与党からも参加者があっても良さそうなものです。

○ 4月24日(土)シンポジウム

「羽田問題解決プロジェクト」は4月24日(土)夜品川区でシンポジウムを行う予定。詳しくは同会HPをごらんください。

○ 沖縄での部品落下事故

エンジンカバーは多良間島に漂着

去年12月、那覇発、羽田行きの日本航空904便がエンジントラブルのため引き返し、緊急着陸しました。不具合が発生した左エンジンは「ファンブレード」と呼ばれる部品が破損したほか、エンジンカバーが外れて海上に落下したとみられています。この重大インシデントを調査している国の運輸安全委員会によりますと、今月9日、外れたカバーの一部が発生場所からおおよそ400キロ離れた沖縄県の多良間島で発見されたということです。見つかったカバーは縦80cm、横120cm、重さ14kgで、多良間空港の職員が空港近くの海岸を清掃中に発見したものです。

これが羽田発だとしたら、離陸直後、川崎コンビナートに落下し、大災害を起こす恐れがあるのです。

○ 杉江弘氏講演会

時 4月24日(土) 13時:30~

所 志村コミュニティホール

主催 いたばしの空を守る会

元日航機長の杉江氏が最新の情報を交えて都心低空飛行の問題を解説します。

○ 新中央図書館、開館しました

3月28日、平和公園内に新中央図書館が誕生しました。常盤台住民にとっては遠くなり、歩いて20分ぐらい、バスなら「志村3丁目行き」か「上板橋駅行き」で3停留所目の教育科学館前で降ります。頻繁に出ている「赤羽駅行き」は手前で曲がってしまうのでご注意を。内部は中々居心地よく工夫されていると思いました。

野良ネコの話

三回に涉ってYさんに野良ネコの対策について寄稿していただきました。

現在はほとんどのネコが耳にサクラの花びらのような避妊処置済みの切れ目を持っていていますが、気にかかるような仔猫を見かけたりした時は、場合によって捕獲器を貸し出しできるそうです。

懸念されるオリ・パラ強行

五輪・パラリンピック開催について、日本人の「中止すべき」と「延期すべき」という意見の合計数は七〇%を越えています。同時に米仏中韓タイの五カ国ではそれぞれ七〇・六%と95・6%となっていてます（新聞通信調査会の20年12月と21年1月の調査）。

太平洋戦争末期の日本の状況と似ているのではないのでしょうか。国民はうんざりしているのに無能な上層部がメンツなのか決断力の欠如なのか、冷静な判断を失ったまま突っ走った結果、悲惨なツケを負わされたのは、いやいやながら従ってきた国民でした。

「復興オリリンピック」とはなんぞや、福島が復興とはほど遠いことは誰でも知っています。「コロナに打ち克った証として」？ どの国が打ち克っているのでしょうか。

今、世界で何が起きているのか、人々は何を望んでいるのか、もっと理性的な目で見て判断してほしい。二五日には聖火リレーを始めているが、いつでも中止できるはず。あのメルケル首相は誤った政策を一日で撤回しました。

選択制別姓制度今度こそ

森氏の失言から始まって、日本の女性蔑視が見直されるようになったのは怪我の功名でした。あの頑迷な自民党の中にも、選択制別姓を考へ直す人達が会を結成してこの問題に取り組みうとしていきます。

丸山氏は通称で済ませるようですが、根本的解決ではありえません。Nさんの意見では、日本人は名字で呼ばれる（O山さんとか×野さんとか）ので、結婚を境に別の姓で呼ばれると、今迄の自分を否定されるように感じるそうです。

常盤台の調査

芝浦工大生Tさんの学部論文が完成し、概要書を受け取りました。コロナ禍で、充分時間が作れたことと、自宅が前野町で近いということが幸いしたようです。

常盤台は他の街に比べて、どの家も周りをきれいにする習慣があるので、どの区域でどの程度掃き掃除をしているか、などの調査がなされていました。確かに常盤台では家の周りの掃き掃除は不文律となって受け継がれていると思います。

更にお祖父さんが常盤台一、二丁目町会の関係者であったことから、今まで調査に来た学生達と違い、各組織の人間関係にまで踏み込んだ論文になっているのが特徴だと思いました。

Tさんはこの概要書を希望する方にはPDFでお送りするという事です。

常盤台公園のはなづくり

チューリップが咲きそろう、花盛りは例年より早く、四月上旬かも知れません。思いうような配色にはなっていないところもありますが、まあまあ賑やかさです。ぜひお散歩のついでに楽しんでいただきたいと思えます。

今年は何んと早くも花吹雪です。去年は二週間もお花見ができたというのに。もっとも新型コロナウイルスのせいで花見も自粛した方が良さそうです。

緑と公園課からは再度、中央図書館の解体工事などは遅れているので、いつも通りの活動を、という連絡がありました。

しかし、何年か先には花壇も一時閉鎖しなければなりません。宿根の植物類は移植するとして、フェンスのバラもいざれ撤去しなければなりません。もともと日当たりの悪いところで、汚いフェンスを隠そうと柵を作ってバラを植えたのでした。移植するにも適当な場所が見当たりません。

もしご希望の方が現われれば、根ごと差し上げようかと相談しています。

新しい花作りの会ができることを期待していますが、それ迄はもう暫く頑張るしかないようです。九十歳を越えたTさんは脳梗塞で倒れたあと回復されましたが、お天気の良い日は公園に来て作業を黙々となさっています。

